

平成25年度 事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	中小河川排水路整備						継続		
コード	24	-	71	-	02	-	00	予算事業名	中小河川排水路整備
担当部署	建設部	河川課			維持管理担当、治水担当		予算事業コード	会計 10 款 08 項 03 目 01	

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)			位置付けなしの場合	法令による実施義務	義務ではない
基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	実施計画事業名	中小河川排水路整備	
方向性(節)	3節	自然と調和した基盤づくり	個別計画等の名称	なし	
施策	1	治水事業の推進	当事業に関連する事務事業	なし	
細施策	1	河川整備			
事業実施の根拠となる法令・条例等	なし				

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	降雨対策及び生活環境の向上を図るため、排水路の整備を推進する。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	地元要望等による中小河川整備及び幹線水路整備を推進する。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額	230,958	217,850	221,000	266,083	224,500	
(25年度予算額大幅増/減の理由)						
事業費 A	226,695	212,631	215,650	205,177	224,500	297,000
人件費 B	14,381	12,179	12,986	12,620	12,620	12,620
総コスト(C=A+B)	241,076	224,810	228,636	217,797	237,120	309,620
正規職員(1年間の従事人数)	1.96人	1.66人	1.77人	1.72人	1.72人	1.72人
臨時職員(1年間の従事人数)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金 D	0					
その他特定財源 E	197,000	184,700	186,000	167,400	178,600	250,200
市の財政負担(=C-D-E)	44,076	40,110	42,636	50,397	58,520	59,420

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
成果 要望整備率	%	39.5	40.1	41.3	41.6	41.9	28年度 42.8
指標の定義・説明	整備済延長/要望延長*100						
指標の定義・説明							
指標の定義・説明							
指標の定義・説明							
指標に基づく評価	限られた予算の中で毎年着実に進捗している。						

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
要望延長が127,924mと莫大な量であるため、着実に進捗しているが、いまだ多くの未整備箇所が残る。事業費の縮小等により施工延長が減少している。少ない予算で最大の効果が出るよう、工事箇所の選定が重要と思われる。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	各市町村で同様に行っている。
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	流水の正常な機能の維持、及び河川環境の整備と保全に取り組みなくなり、日常の生活環境に大きな影響を与える。

平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		建設部				河川課	維持管理担当、治水担当
事務事業名称		24	71	02	00	中小河川排水路整備	
今後3年間の方向性	25年度	拡充 生活環境の向上を図るために、従来どおりの河川整備は継続とする。また、排水ポンプ施設の設備交換・更新について、計画的な検討を行い、河川管理施設の安全性の確保を図りたい。					
	26年度	拡充 生活環境の向上を図るために、従来どおりの河川整備は継続とする。また、排水ポンプ施設の設備交換・更新について、計画的な検討を行い、河川管理施設の安全性の確保を図りたい。					
	27年度	継続					